

令和6年度 静岡県歯科医師会学術大会

(会場参加型&Zoomウェビナー)

◆講演1 う蝕治療の潮流

講師 **伊藤 直人** 先生 (伊藤デンタルクリニック 院長:小田原市開業)

◆講演2 フッ化物局所応用アップデート

講師 **石塚 洋一** 先生 (東京歯科大学衛生学講座 准教授)

◆日 時 令和6年5月19日(日) 13時00分~16時35分(終了予定)

◆会 場 静岡県歯科医師会館5F「501大会議室」(静岡市駿河区曲金3-3-10)

◆対 象 会員歯科医師及びそのスタッフ、歯科衛生士、歯科技工士 等

◆定 員 60名(会場)

◆申込締切 令和6年5月16日(木)

※講演要旨については裏面をご覧ください

【申込方法】

- ①静岡県歯科医師会ホームページ (<https://s8020.or.jp/>) へアクセス
- ②静岡県歯科医師会学術大会へのお申込みについて をクリック
- ③会場受講申込はこちら または WEB受講はこちら をクリックし、必要事項を入力して送信
- ④県歯科医師会会員はLINE公式アカウントのメニュー「研修会申込み」からも申し込み可能です。

※右記QRコードを読み取ると
静岡県歯科医師会ホームページにアクセスできます。



【WEB受講に関して】

Zoomウェビナー登録完了後、下記①, ②いずれかの方法で受講できます。

- ①登録完了後に届く確認メールに記載の ここをクリックして参加 をクリック
- ②受講日前日に届くリマインダーメールに記載の ウェビナーに参加 または URLをクリック

※登録後、①の確認メールが届かない場合は、正しく申し込みができていない可能性がありますので、メールアドレスをご確認の上、再度お申込みください。また、迷惑メールに分類されている可能性もありますのでご注意ください。

※本学術大会に関する資料等は、②のリマインダーメールより閲覧可能とする予定です。

主 催 一般社団法人 静岡県歯科医師会

お問合せ TEL : 054-283-2591 Email : shogai@s8020.or.jp

令和6年度 静岡県歯科医師会学術大会 講演要旨

講演1 う蝕治療の潮流



講師 **伊藤 直人** 先生（伊藤デンタルクリニック 院長：小田原市開業）

う蝕学（カリエロジー）は科学の進歩に伴い、新しい時代を迎えました。従来、う蝕はある特定の細菌感染によるものと考えられていましたが、近年は口腔常在菌の生態変化に影響される多因子性疾患とする『生態学的プラーク説』という考えが主流になっております。それにより、う蝕治療の目的も従来の削って詰める治療を中心とした「感染除去」から、う蝕病変の活動性の停止を目的とした「カリエスコントロール」へと移り変わり、

臨床においてはう蝕の活動性・非活動性といった進行性の判断が求められております。カリエスコントロールでは口腔衛生指導が要となりますが、患者さんのプラーク、糖、フッ化物や唾液といった複雑な因子が絡み合うがゆえに、改善がままならない経験を皆様もされているのではないのでしょうか。私自身はその多因子をエビデンスに基づき漏れのないように効果的なセルフケアとして5つのステップに簡素化し、2020年に著書「カリエスブック」を上梓させていただきました。今回の講演ではカリエロジーの潮流と共に、複雑に絡み合っていたう蝕に対する多因子への捉え方をシンプルに説明させていただきます。う蝕に対する考えが明確になり、明日からの臨床において患者さんに自信を持って説明ができる一助となれば幸いです。

講演2 フッ化物局所応用アップデート



講師 **石塚 洋一** 先生（東京歯科大学衛生学講座 准教授）

フッ化物応用は、半世紀以上にわたる研究に支えられ、齲蝕予防としての効果が明確に確立されている手段です。フッ化物の全身応用が行われていない日本では、齲蝕予防のために3種類のフッ化物局所応用（フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口、フッ化物歯面塗布）が重要な役割を果たします。日本のフッ化物応用のTopicsとしては、2022年12月に、厚生労働省医政局長と健康局長から各都道府県知事宛に『「フッ化物洗口の推進に関する

基本的な考え方」について』が通達されました。また、フッ化物配合歯磨剤に関しては、2023年1月に「4学会（日本口腔衛生学会、日本小児歯科学会、日本歯科保存学会、日本老年歯科医学会）合同のフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法」が公開されました。フッ化物製品の最適な効果を得るために、製品の選択だけでなく、個人の行動も重要であることが知られています。何を使用するかだけでなく、特定の製品をどのように使用するかについても、一般の生活者や患者さんに明確なアドバイスを与えることが重要です。本講演では、フッ化物局所応用に関する最新情報をご紹介します。フッ化物局所応用の知識をアップデートし、臨床に応用していただければ幸いです。